

森の風わたる♪ 久々場連山マップ

土阿国境の尾根は
行者山~四足峠~石山~
倉山系~三嶺につながる。
2016年に古井に架けられた
ツチワクワも、この尾根を
通ってきたにちがいない。



「ハチ」は
エサを目的
で来るといふ

神々しさを
覚えるほどの
きつかりのツチワクワ

飛騨県
那賀市



安芸市最高峰

木立ち越いに
三嶺山系みえる

春夏秋冬 季節はせい
りしては見送る。
又の社会で 時間は流
れてしまふが、森の中
で時間(はじり)冬も夏も春も
夏も秋も同じ年輪とい
う森の命の輪が刻み
込まれる。

ス々場山
1417m

杉原林道へ



四根
(積15)

空と森が開ける風景

絶えず天へ向かい
伸びはよとする
スナ。尊い姿だ。

スナの本木に出会う。
何百年ものあつた
一歩も動かさず
下へは急らあ
あせりやうへへ
根ははり、川は
自分はどうか?
まだまだ足りない。

駒背山
1311m

スナの本木
森は明るい

倉山系
約1時間

うんてん
かんせ
キツい
なんだか
たのしい息返

急坂

分水嶺と尾根

ヤセ尾根

香美市

安芸市

ほほ平坦

一部不明瞭

スナやヒメヤブ
リョウブなどの
天然林の中
のほほ平坦は
注意。

黒いカシカに出会
たかおれ道まよわ

急坂

4WD

ス々場山をピークにゆるやかに連なる山々のほほ
じりか、おもしろい水の流れを感じさせる
山並みである。
香美市~那賀市~馬路村との境界で伊
尾川と、物部川などの水系を分かつ
大きな分水嶺となっている。
安芸市最奥の集落、別荘をゆたりと囲ま
おとされる人はまぶしい山でありながら
その魅力は一登の価値ある山である。

久々場山
国有林
(くくば、こくば)

見下ろす山頂は
約1時間30分

土居山

安芸市最奥
万緑の山中に深く分け入る

木々や草や石や土や
この森のすべてと
呼吸を合わせると
たまには、ほんまに
気持ちがいいにきつ

若木、倒木など
自然の造形を
道標としてお
楽しみをこころ

歩道は荒れている。
とりはなんとか
あつたが、下り
道を見おとしや
特に下りは要注意。

倉山系の谷川の水が
とてもきれい。
スナ林の中を流している
水。水がスナの中を
山が磨き、養分を
おいしく感じるの
しんない。一飲の価値あり

急坂

急坂

山に来た人の大半は無事に
下山していくが、けれども
山の危険度は絶対
「0」にはならない。
家の玄関に帰るまで
気を抜くなかれ。

久々場谷

スギ、ヒノキの
人工林

竹ヶケ峠
ゆるやかな長い尾根。
久々場山と雲取山の
ゆるやかな尾根の
ゆるやかな尾根の
ゆるやかな尾根の

帰り道は
アクシデントが
起こりやすい。
帰りは特に
急がないこと!

深い谷

シカの過剰生息に
よる被害により
木々も山も悲鳴を
あげている。

シカは年15~20%
程度で増加する。
20%として、人が何もしなければ
100頭は20年後に3,200頭、30年後に
2万頭、40年後に13万頭。おそろしなる。

伊尾川に注いで
奈比谷から別荘
までの旧東川は
安芸市の面積の
52%を占めている。

県内自治体の中で
市街地から最も
遠い集落は360
下3000m。
国道55号分岐
約1時間半。

まるでV字の彫刻刀で
一気に削りこんだよう
な地形。
直線的な川は山を
削り込み、急流が一
気に海まで流れる。

若い植林地
シカ被害

剣山系
緑の回廊

汗谷向山
国有林

高河山
1364m

高河山系
約1時間

久々場神社

久々場のかま
雨乞い伝説

久々場林道(森神道の跡) 伊尾川で7時間くらいかかるといふ。

険しいが西又山登山可。西又山

